

専大校友を訪ねて

木暮 康雄さん (平19経営)

買い取りプラットフォーム運営会社社長



日本における中古品売買の市場規模は、家庭で眠っている不用品を含めると37兆円に上るとも言われている。この巨大な潜在的市場を掘り起こすべく、売りたい人と買いたい業者をマッチングするプラットフォーム「ウリドキ」を開発、提供している。ネット上に出品した商品に対して複数のプロ査定士が値段を付け、売り手はその中から条件の良い業者を選んで売ることができる。従来の中古品買い取りとはまったく異なる、顧客満足度の高い斬新なサービスとして大きな注目を集めている。

IT革命前後の1990年代半ばに思春期を過ごし、インターネットが持つ可能性の大きさに心躍らせたという木暮さん。専大入学後、等原伸一郎名誉教授(元経営学部教授)の熱の入った授業に魅了されて3年次のときに起業。漫画を全巻セットで販売するEC(電子商取引)サイトを立ち上げた。集客から在庫管理まで広く携わるなかで着目したのが買い取りプラットフォーム。好調だった漫

リユースで社会を豊かに変えていく

画販売会社を2014年に売却、新たにウリドキ株式会社を設立した。プラットフォームの世界に街をつくる試み。人々の暮らしをより豊かに変えることができる」と力強く話す。

家庭に眠る不用品に価値を見だし、可視化して社会に循環させる。SDGsの目標12「つくる責任つかう責任」の達成につながる社会貢献性の高さも、リユース事業の大きな魅力を感じている。売り上げが10倍伸びたら、そのぶん世の中も10倍良くなっている。木暮さんが考える「良い会社」の条件であり、起業家として大切にしている信条である。

自らの信じる道を突き進む木暮さんだが、かつて「利益の追求」と「顧客満足度の向上」という二つの目標の間で悩んだことがあった。そのときに助言をくれたのが奥村経世経営学部准教授で、「利益とは預かっているお金であり、サービスの向上を通じて社会に還元することが期待されている」という言葉で迷いが晴れた。今はこの言葉を後輩経営者たちに伝えているという。恩師や友人との出会いに恵まれた専大時代を振り返り、「人間には、教育や経験によって得られる人的資本と、人とのつながり得られる社会関係資本がある。大学は二つの資本を同時に蓄積できる場所。ぜひ生かしてほしい」と在學生にエールを送る。

スポーツ研究所×文・齋藤ゼミ

小学生向けオンラインイベントに協力

「こころのきたえ方」を解説



小学生の自由研究を応援。専修大学スポーツ研究所(佐竹弘道所長)と文学部「齋藤実ゼミが公益財団法人野球殿堂博物館主催の「野球で自由研究」に協力し、7月22日、「スポーツと勉強もどろんどろん上達〜こころをきたえよう」と題したオンラインイベントを開催した。

全国各地の小学生約70人が参加。スポーツ心理学が専門の佐藤雅幸経済学部教授の講義と、齋藤ゼミに所属する3年次生10人が制作した実験動画で、メンタルトレーニングの意義やトレーニング方法を学んだ。

佐藤教授は、緊張をマネジメントする心理スキルトレーニングを紹介。子どもたちからは、試合での心構えなどの質問が寄せられた。

サポート役を務めた齋藤ゼミ生は、所属する体育会各部のユニホーム姿で参加。イメージトレーニングの効果、発声とパフォーマンスの関係などを検証した動画を作り、

参加者と一緒にアイスブレイクに取む齋藤ゼミ生



元留学生コーチ氏

外務大臣表彰を受賞

イタリアで日本文学普及に貢献

本学大学院で日本文学を学んだイタリア・トリノ大学教授のジャンルーカ・コーチ氏(平16院文学部)が今年度の外務大臣表彰を受けた。8月20日付で外務省が発表した。コーチ氏は翻訳者、研究者として日本文学を広くイタリアに紹介し、2020年にはイタリアの文学翻訳賞を受賞した。今回の外務大臣表彰は、イタリアにおける日本文学の普及に寄与した功績によるもの。数多くの翻訳のほか、近年はイタリア各地で日本人作家との対談や日本文学の魅力を語る講演会を行っていることなどが認められた。41団体が受賞した。

メンタルトレーニングの重要性を説明する佐藤教授(右)。左は司会の齋藤教授



高島涼さんは「私たちがとても学びを深める貴重な機会となった」と振り返った。

齋藤教授は「今回の経験は、自分たちのプレーにもフィードバックで心がブレに与える影響を子どもたちに分かりやすく、さまざまな面でプラ

専修人の新しい本

<校友>

横浜トライ! 横浜はなぜ世界のトライアスロンシティになったのか? 開港150周年を記念して、2009年に横浜でトライアスロンの世界大会が初開催された。同大会はその後、パラトライアスロン部門を加えて開催され、期間中は2日間50万人近い観戦者を集めるビッグイベントに成長した。大会誘致をけん引したのは、横浜市議員で、横浜市トライアスロン協会会長も務める花上喜代志さん(昭44法)。本書にはその舞台裏と競技の魅力が余すところなくつづられている。華やかなな舞台とは対照的に、開催実現までは



花上喜代志著

「いばらの道」だった。しかし花上さんらは「知恵を絞り、チャレンジ精神を奮い立たせて乗り越えてきた(本書より)。横浜港の水質を不安視する声には、60歳にして水泳を習い、自ら山下公園前の海で泳いでみせることで安全性をアピール。このエピソードが象徴するよう本書は、逆風が吹くなか大会の開催・発展に尽力した者たちの「挑戦(トライ)の物語であり、胸を熱くする。大会関係者や選手の間にも多数収録し、貴重な記録としての側面も持つ。地域活性化や環境保全、ダイバーシティなど多様なテーマを含む本書を通じて、大規模スポーツイベントが生み出す豊かなレガシーに触れることができる。(さいと舎) 税込み2090円)

一人一人が自分らしくあるために

最近、〇〇ハラスメントという言葉が聞かれています。ハラスメントとは、簡単に言えば、人異なり、誰もが被害者・加害者になり得る行為」ということです。だからこそ、お互いに関心を持ち、個々のケースをみながら考え、感じ方の違い、問題意識を共有することがより良いキャンパスづくりにつながります。

多様な社会に暮らす現代の人々、自分らしく生きるためにも、お互いに気をつけなければいけないことは何かと、広く捉え考え始めたことが、急激にこの言葉が広がってきたことに伴い、一昔前には声をあげていなかったことが、ハラスメントはあってはならないという認識が皆さんの共通認識となるよう、また、常に変わり続ける境界線は、時代を反映して理解していただくことで、一人一人が自分らしいキャンパスライフを送れる環境を実現したいと考えています。

そんな中で、私たちが考えています。対策室員・小山 祐美



「ハラスメントのないキャンパスへ」

昨今では問題視されているという認識が皆さんの共通認識となるよう、また、常に変わり続ける境界線は、時代を反映して理解していただくことで、一人一人が自分らしいキャンパスライフを送れる環境を実現したいと考えています。

そんな中で、私たちが考えています。対策室員・小山 祐美

校友会情報

就任

諸岡良和氏(もうおか・よしかず 平19経営) 一般社団法人成田市観光協会展長に6月23日付で就任。本部 千葉県。

選挙結果

▽群馬県渋川市長選挙(8月29日投票) 高木勉氏(たかぎ・つとむ 昭49法) 再選

▽小川浩氏(いしかわ・ひろし 昭62商) 財務省九州財務局長に7月8日付で就任。

ホームカミングデー2021

11月3日(水・祝) 開催方法など詳細は大学ホームページにてお知らせします

専修大学・石巻専修大学 「社会知性(Socio-Intelligence)の開発」推進募金

皆さまのご支援・ご協力をお願いいたします。 詳細はQRコードから

TEL: 03-3265-3157 E-mail: bokin@acc.senshu-u.ac.jp